

令和3年度 決算概要

決算状況をより分かりやすくお知らせするため、**家計に例えて決算額の2000分の1で表しています。** ※()内は実際の決算額

令和3年度の決算では、66万円(13億3,140万円)の黒字となりました。そこから、令和4年度へ繰り越した事業に必要な金額を除いた実際の黒字額は56万円(11億2,668万円)となりました。

収入 ※()内は実際

◆令和2年度にあった特別定額給付金に伴う国・県支出金がなくなったことなどから、「親からの仕送り」が減少しました。また、中滑川駅前エリア整備事業などの実施に伴い地方債の借入れが多かったため、「ローン」も増加しました。

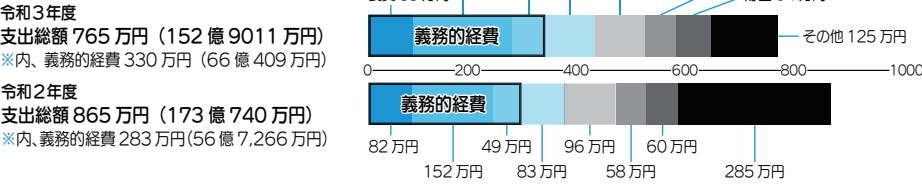
給料…地方税、地方交付税
手当…分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、諸収入
親からの仕送り…地方譲与税、各種交付金、国庫支出金・県支出金
預金取崩し…繰入金 繰越し…繰越金 ローン…地方債



支出 ※()内は実際

◆令和3年度の支出の特徴は、子育て世帯臨時特別給付金や生活支援臨時特別給付金があったことなどにより、「医療費」が増加したことです。また、令和2年度にあった特別定額給付金などの感染症対策事業の補助金がなくなったことなどにより、「その他」が大きく減少しています。

食費…人件費 医療費…扶助費 ローン返済…公債費
光熱費・日用品…物件費 家電購入など…普通建設事業費、維持補修費
子どもへの仕送り…繰出金 貯金…積立金 その他…補助費など、貸付金

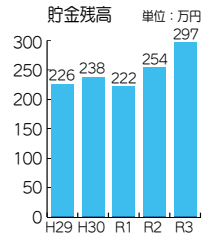


◆支出の中でも削減することが困難な義務的経費(食費(人件費)、医療費(扶助費)、ローン返済(公債費))の割合が高いと、自由に使えるお金が少なくなり、経済(行政)活動が制限されます。

令和3年度の義務的経費が支出総額に占める割合については、43.2%(330万円(66億409万円))となりました。令和2年度は32.8%(283万円(56億7,266万円))でしたので、対前年度比16.4%(47万円(9億3,143万円))の増となりました。子育て世帯臨時特別給付金などにより、「医療費」が大きく増加したほか、地方債の繰上返済を実施したことで「ローン返済」も増加したことによるものです。義務的経費の中でも、「医療費」は例年増加傾向にあるため、今後も動向に注意する必要があります。

基金(貯金)、市債(ローン)残高の推移

◆できるだけ地方債に頼らない財政運営を行っていることや、令和3年度中に、地方債の繰上返済を行ったこともあり、ローン残高は1,251万円(250億1,010万円)と減少(前年度比▲15万円(▲3億1,288万円))しました。一方で、次年度以降の支出に備えて基金を積み増し、貯金残高は297万円(59億4,662万円)と増加(前年度比43万円(8億6,475万円))しました。今後もローン返済を控えていることから、引き続き経費の節減合理化を図り、財政の健全化に取り組んでいくこととしています。



基金(貯金)…財政調整基金、減債基金、その他特定目的基金の合計
市債(ローン)…一般会計、特別会計、公営企業会計の市債の合計

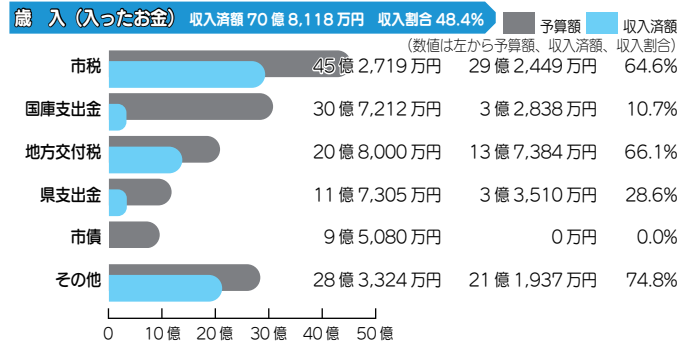
特別会計・公営企業(水道・下水道事業)会計の決算

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	31億 598万円	30億 5,240万円	5,358万円
後期高齢者医療事業	9億 477万円	8億 9,126万円	1,351万円
介護保険事業	保険事業 29億 9,693万円 サービス事業 1,495万円	29億 7,673万円	2,020万円
工業団地造成事業	38万円	12万円	26万円
水道事業	5億 2,416万円	6億 9,284万円	▲1億 6,868万円
下水道事業	25億 7,536万円	29億 9,418万円	▲4億 1,882万円

令和4年度 予算執行状況

(令和4年9月末現在)

●一般会計予算執行状況(予算額146億3,640万円)※令和3年度からの繰越し分を含む



●特別会計予算執行状況

会計名	予算額	歳入		歳出	
		収入済額	収入割合	支出済額	支出割合
国民健康保険事業	30億 1,265万円	10億 6,298万円	35.3%	10億 3,428万円	34.3%
後期高齢者医療事業	8億 9,660万円	1億 8,891万円	21.1%	2億 7,101万円	30.2%
介護保険事業	31億 9,728万円	14億 3,083万円	44.8%	12億 1,883万円	38.1%
工業団地造成事業	31万円	55万円	180.0%	0万円	0.0%

●公営企業会計予算執行状況

事業名	予算額	歳入		歳出	
		収入済額	収入割合	支出済額	支出割合
水道事業	4億 6,155万円	2億 2,347万円	48.4%	3億 7,165万円	19.7%
下水道事業	14億 3,130万円	6億 1,073万円	42.7%	12億 5,314万円	13.6%

市有財産状況 (令和4年9月末現在)



滑川市の 財政事情

問い合わせ先 財政課 ☎475-1253

市の財政状況を、1年に2回、市民の皆さんにお知らせしています。今回は、令和4年度予算の上半期の執行状況と市の財産の状況、令和3年度の決算の概要を掲載しています。

用語解説

【歳入の部】
市税 市民の皆さんや法人が市に納める税金で、市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税を総称したものです。
国庫支出金・県支出金 様々な事業に対する国・県からの補助金、委託金などです。
地方交付税 全国の市町村が等しく事務を行えるよう、一定の基準により国から交付されるお金です。
市債 施設の整備などのために借りるお金です。

【歳出の部】
民生費 障がい者、高齢者、児童の福祉や生活保護に使われます。
土木費 道路、公園、市営住宅などの建設や管理に使われます。
総務費 市の全般的な管理、企画や選挙、戸籍・住民票事務などに使われます。
衛生費 ごみ処理や環境保全、市民の健康増進などに使われます。
教育費 小・中学校、公民館の運営や、文化・スポーツの振興などに使われます。
公債費 借り入れた市債の元金・利子などの償還に使われます。
農林水産業費 農業や林業、水産業の振興などに使われます。

【各会計の解説】
一般会計 市税収入を主な財源として、福祉、保健衛生、土木、教育、消防など市の仕事の大部分をまかなう会計です。
特別会計 特定の事業を行う場合や特定の収入を特定の支出に充てる場合、一般会計とは別にその経理を明らかにするために設けられた会計で、本市には国民健康保険事業や介護保険事業など、4つの特別会計があります。
公営企業会計 民間企業と同様に、事業で得た収入で支出をまかなうという、独立採算を原則とする事業について設けられた会計で、本市では水道事業会計と下水道事業会計が該当します。